

令和3年第1回北海道議会臨時会 質疑 開催状況（環境生活部）

開催年月日 令和3年5月13日（木）
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事 鈴木 直道

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 感染状況と対策の評価と対応等について (二) 道の対策について 4 オリンピック開催について</p> <p>(真下議員)</p> <p>(1) マラソンテスト大会等について 5月5日に行われた東京オリンピックマラソンテスト大会において、札幌市以外に勤務する職員を含む44名の道職員をボランティアとして参加させていた実態を先の環境生活委員会で明らかにしました。市外勤務地からは14名の参加です。知事は「札幌市民には出かせない」と「ゴールデンウィーク緊急メッセージ」を発しておきながら、オリンピックテスト大会のために全道から札幌へ道職員を集めることは、感染対策に逆行する行為だったと言えますが、知事の見解を伺います。</p> <p>(2) 知事の姿勢について 知事は、毎日新聞が行った「東京五輪・パラリンピック開催の全国知事アンケート」で、「道として、安全で確実な実施に向けて準備に取り組んでいる」と回答しました。感染状況次第で中止・延期にすべきと答えなかった考えの根拠が何か伺います。 また、選手以外の関係者、ボランティアスタッフは検査も行わず、基本的な感染対策をとっただけです。このような水準の感染対策の徹底が行われれば、変異株が猛威を振るっていても、感染は拡大しないと知事は認識しておられるのか伺います。</p> <p>(再質) 次に、道の対策に関しオリンピック開催の判断についてです。今、オリンピックをめざすアスリートの中</p>	<p>(知事)</p> <p>東京オリンピックマラソンのテスト大会の開催についてであります。東京大会の安全で確実な開催に向けては、感染症対策はもとより、競技運営や警備、交通規制などの検証が必要であることから、一般参加を中止し、沿道での観戦自粛を要請した上で、テストのための必要最小限の規模でテスト大会を開催したものであります。</p> <p>開催を担う実行委員会では、感染症の状況や大会が注目されていることも踏まえ、沿道での観戦自粛を呼びかける観衆誘導員を大幅に増員することとし、道としても、ボランティアとして大会本番で参加を予定している道職員に訓練を兼ねた協力と呼びかけたものであります。</p> <p>大会の参加にあたっては、道職員のボランティアについても、他の関係者と同様にテスト大会のために作成した専門医の監修による「ガイドライン」に基づき、感染症対策を徹底し、必要な業務にあたっていただいたところでございます。</p> <p>(知事)</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催についてであります。現在、IOCや大会組織委員会では、コロナ禍においても、出場選手や大会関係者はもとより、我が国の住民の方々にとって、安全・安心な大会となることを最優先に様々な取組を進めていると認識しています。</p> <p>先月28日には、大会組織委員会と国や東京都、IOCなどとの五者協議において、厳格な行動管理や検査の実施など海外からの全ての大会関係者が遵守すべき具体的なルールについて改めて合意し、マラソン競技のみならず各種競技のテスト大会を通じて、本番での具体的な運用方法の検証や検討が行われていくものと承知してあります。</p> <p>今回のテスト大会では、参加者全員がマスクの常時着用や手洗い、手指消毒などの基本的な対策を徹底することが重要とされておりまして、道としては、そういった対策の検証結果なども踏まえて、大会組織委員会に対し、国民の皆様への丁寧な説明を求めていくとともに、札幌市とも連携し大会本番でのアスリートや観客、道民の皆様など全ての方々の安全・安心の確保に繋がるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会についてであります。テスト大会の開催にあたっては、大</p>

でも、コロナ感染拡大により命のリスクと日常を取り戻す対策の狭間で葛藤が続いていると報道されております。

ところが、知事の報道機関からのアンケートへの対応は、感染状況次第で中止・延期にすべきと考えないと宣言したにも等しいものです。この感染がさらに拡大しても、知事のいう徹底した感染対策の水準であれば大勢の人流を促すことになるとしても、五輪を中止・延期する必要はないと考えているのですか。徹底した感染対策といいながら、選手に対して行っている定期的な検査等の対策と、一般の参加者や観客に対して行っている対策とでは二重基準であり、到底徹底した対策とはいえません。

選手達からは自分たちだけが特別扱いされていることが公平性を欠くと苦しむ声も上がり始めていますし、命を犠牲にするわけにはいかないというこういった切実なアスリートの声も出ています。五輪を目指すアスリートの心慮に配慮しつつ、爆発的感染拡大から、道民の命と健康を守る自治体の長として大会自体の中止の考えを持つべきではないのかお伺いいたします。

会本番でボランティアとして参加を予定している道職員に他の大会関係者と同様、専門医の監修による「ガイドライン」に基づく感染症対策を徹底した上で、大会の運営にあたっていただいたものであります。

また、東京大会の開催に向けて、道としては、テスト大会における検証結果なども踏まえ、大会組織委員会に対し、感染症対策などの丁寧な説明を求めていますとともに、感染状況も注視しながら、札幌市とも連携し大会本番でのアスリートや観客、道民の皆様など全ての方々の安全・安心の確保に繋げるよう、しっかり取り組んでまいります。